

| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名  | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置  | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|--|--|---|--------------------------|
| A201200982<br><br>2012-3307<br><br>2013/02/19<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | 電気衣類乾燥機<br><br>(株)東芝(現 東芝ライ<br>フスタイル(株))<br><br>ED-D300 | 当該製品を使用中、異音に気がつき確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損、周辺を汚損した。 | 事故原因は、当該製品の制御基板とヒーターを制御する部品の接触不良により発熱し、発煙・出火に至ったものと推定される。  | 東芝ライフスタイル(株)は、事故の再発防止を図るため、平成2年5月29日に新聞社告、平成19年4月10日に再社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を呼び掛けている。   | (受付:2013/03/04)          |
| A201300895<br><br>2013-4146<br><br>2014/03/05<br><br>(事故発生地)<br>群馬県 | 電気冷蔵庫<br><br>シャープ(株)<br><br>SJ-W35A                     | 当該製品の内部部品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。                              | 事故原因は、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー(起動用電気部品)内のPTC素子(電流を制御する部品)の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損して製品の内部部品を焼損する火災に至ったものと考えられる。 | シャープ(株)は、事故の再発防止を図るため、平成24年4月17日にホームページに情報を掲載するとともに新聞社告を行い、当該製品を含む対象製品について、無償点検・部品交換を実施している。  | (受付:2014/03/17)          |
| A201400186<br><br>2014-0761<br><br>2014/06/17<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | エアコン(室外機)<br><br>ダイキン工業(株)<br><br>RAZ225X               | 当該製品を焼損する火災が発生した。  | 事故の原因は、当該製品のプリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差により、はんだ接続部に繰り返し応力がかかり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至ったものと考えられる。            | 事故の再発防止を図るため、2004年(平成16年)10月18日にホームページに情報を掲載し、翌10月19日に新聞社告を行うとともに、継続的に新聞折込チラシやダイレクトメールの送付を行い、無償点検・改修(プリント基板の交換又ははんだ盛りの追加等の対策)の呼び掛けを行っている。 | (受付:2014/06/27)          |











| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名   | 事故通知内容                                | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|---------------------------------------|---|---|--------------------------|
| A201500766<br><br>2015-2551<br><br>2016/01/29<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 換気扇<br><br><br>松下エコシステムズ(株)<br>(現 パナソニック エコ<br>システムズ(株))<br><br>FY-08PTU7D | 学校のシャワー室で当該製品を焼損し、<br>周辺を汚損する火災が発生した。 | 当該製品は、本体フレーム裏面にある屋内配<br>線を接続する速結端子に水分が浸入したこと<br>で、トラッキング現象が生じて異常発熱したも<br>のと推定されるが、フレーム裏面側に浸入した水<br>分の経路が特定できず、製品起因か否かを含め<br>、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視し<br>ていくとともに、必要に応じて対応を行う<br>こととする。   | (受付:2016/02/16)          |
| A201500774<br><br>2015-2568<br><br>2016/02/14<br><br>(事故発生地)<br>徳島県 | 電気温風機(セラミック<br>ファンヒーター)<br><br><br>(株)電響社<br><br>DTC-A1215-WH              | 当該製品を使用中、当該製品を焼損す<br>る火災が発生した。        | 当該製品のヒーター部とリード線接続部のカ<br>シメ不良により、接続部が異常発熱し、出火し<br>たものと推定される。   | (株)電響社は、事故の再発防止を図る<br>ため、平成28年5月20日、同社ホーム<br>ページに情報を掲載するとともに、平成<br>28年5月21日に新聞社告を行い、対象<br>製品について無償で製品交換を実施してい<br>る。 | (受付:2016/02/18)          |
| A201500786<br><br>2015-2641<br><br>2016/02/03<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | 電気ストーブ<br><br><br><br>(株)千住<br><br>ES-K710(W)-<br>15                       | 当該製品を使用中、当該製品を焼損し、<br>周辺を汚損する火災が発生した。 | 当該製品の転倒オフスイッチの接点部で接触<br>不良を生じて、出火に至ったものと推定される<br>が、可動接点板の一部が確認できないため、事<br>故原因の特定には至らなかった。   | 引き続き同様の事故発生について注視し<br>ていくとともに、必要に応じて対応を行う<br>こととする。   | (受付:2016/02/22)          |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                                 | 品名  | 事故通知内容                                      | 事故原因  | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|--|---|---|---|--|----------------------|
| A201500790<br><br>2015-2644<br><br>2016/01/30<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 電気フライヤー<br><br><br>(株) 安吉<br><br><br>PRO-4FLWT-B    | 店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。                    | 当該製品は、残存する電気部品に出火した痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、電源スイッチなど一部確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。                     | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/02/22)      |
| A201500795<br><br>2015-2645<br><br>2016/02/10<br><br>(事故発生地)<br>大阪府  | 電気洗濯乾燥機<br><br><br>三洋電機(株)<br><br><br>AWD-A845Z     | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。              | 当該製品は、サーモスタットの端子部が異常発熱して溶断し、発火に至ったものと推定されるが、サーモスタットに接続する圧着端子のカシメ部に異常は認められず、サーモスタットの端子の焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、三洋電機(株)は、当該製品を含む対象機種について、平成21年9月18日以降、ホームページへの情報掲載を行うとともに複数回の新聞社告を掲載し、無償で点検を実施している。また、当該製品を含む対象4機種については、製品を買い取る対応を行っている。   | (受付:2016/02/24)      |
| A201500799<br><br>2015-2661<br><br>2016/02/16<br><br>(事故発生地)<br>大阪府  | ノートパソコン<br><br><br>パナソニック(株)<br><br><br>CF-S10CYBDR | 事務所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、3名が軽傷を負った。 | 調査の結果、当該製品のバッテリーセルの封口部に製造上の不具合によって生じた導電性異物が付着し、充放電を繰り返すうちに封口部の絶縁部が劣化し、バッテリーセルが内部短絡を起こして過熱し、火災に至ったものと推定される。        | パナソニック(株)は、平成26年5月28日にホームページに情報を掲載するとともに、同月29日に新聞社告を行い、対象バッテリーパック(特定の期間に製造した電池セルを使用したもの)について無償で製品交換を実施している。また、当該リコールの対象外であったバッテリーパックにおいても発煙・発火に至るおそれがあるため、対象範囲を拡大することとし、平成26年11月13日にホームページに情報を掲載するとともに、同月14日及び平成27年2月23日に新聞社告を行っている。 | (受付:2016/02/25)      |





| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                                | 品名  | 事故通知内容                             | 事故原因   | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|------------------------------------|--|---|----------------------|
| A201500840<br><br>2015-2753<br><br>2016/02/29<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | ノートパソコン<br><br><br>パナソニック（株）<br><br>CF-NX2JWGYS     | 事務所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、バッテリーパックの一部の電池セルで内部短絡が生じ、発熱、焼損したものと推定されるが、電池セル内部の焼損が著しく、内部短絡が発生した原因の特定には至らなかった。              | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/03/11)      |
| A201500855<br><br>2015-2790<br><br>2016/02/27<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 調光器<br><br><br>オーデリック（株）<br><br>LC813               | 事務所で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。     | 調査の結果、当該製品は、はんだ付け工程のばらつき等により、長期使用（約18年）に伴いスイッチ端子のはんだ付け部ではんだクラックが生じたため、接触不良となり異常発熱し、焼損に至ったものと推定される。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/03/16)      |
| A201500862<br><br>2015-2816<br><br>2016/02/23<br><br>(事故発生地)<br>京都府 | 照明器具（充電式）<br><br><br>(株)ネクセル<br><br>GD-F026-3Y(20W) | 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。     | 当該製品の背面が著しく焼損していることから、リチウムイオン電池セルが出火したものと推定されるが、確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。                  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/03/18)      |











| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名  | 事故通知内容                          | 事故原因  | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---------------------------------|---|---|--------------------------|
| A201600040<br><br>2016-0144<br><br>2016/04/06<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電気こんろ<br><br><br>エレクトロラックス・ジャ<br>パン(株)<br><br>ASD101  | 当該製品を汚損し、周辺を焼損する火災が発生した。        | 調査の結果、当該製品の火力調整つまみが操作面から飛び出していたため、使用者の身体等が接触した際に、意図せずスイッチが入ってヒーターが加熱され、当該製品の上に置かれていた可燃物が焼損したものと推定される。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/04/22)          |
| A201600041<br><br>2016-0166<br><br>2016/04/14<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電気洗濯乾燥機<br><br><br>LG電子ジャパン(株)(<br>現LG Electronics Japan(株))<br>(株)良品計画ブランド)<br>WD-J63B(株)良品計画ブランド) | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。      | 当該製品のメイン基板上において、温水用ヒーターに接続されるリレーのはんだ付け部に不良があったため、接触不良により発熱し、基板の一部を焼損したものと推定される。                       | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/04/25)          |
| A201600042<br><br>2016-0167<br><br>2016/04/14<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | 電気洗濯機<br><br><br>三洋電機(株)<br><br>SW-520N   | 当該製品を使用中、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、モーター運転用コンデンサーの不具合により、コンデンサー内部での絶縁不良による短絡が発生して異常発熱し、発煙に至ったものと推定される。                              | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/04/26)          |











| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名   | 事故通知内容                                    | 事故原因   | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|---|--|---|--------------------------|
| A201600116<br><br>2016-0446<br><br>2016/05/26<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | 扇風機<br><br><br>(株)千住<br><br>K I - 1 6 2 R                                    | 事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。                 | 調査の結果、当該製品は首振り部の内部配線に繰り返し応力が加わり、断線してスパークが生じたことで出火に至ったものと考えられるが、焼損が著しく確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。   | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/06/10)          |
| A201600123<br><br>2016-0471<br><br>2016/06/01<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | 電気洗濯機<br><br><br>東芝家電製造(株)(現<br>東芝ライフスタイル(株)<br>)<br><br>AW-42SH             | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が負傷した。     | 当該製品の電源基板に接続されたリード線が断線し、断線部に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕か特定できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/06/14)          |
| A201600125<br><br>2016-0472<br><br>2016/06/07<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ノートパソコン<br><br><br>(株)東芝(現 東芝クライアントソリューション(株))<br><br>dynabook EX/<br>47NWHT | 当該製品を使用中、当該製品の電源コードのプラグ部及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、パソコン本体とACアダプターとを接続するDCプラグ内部で異極間短絡したことで、異常発熱し焼損したものと推定されるが、異常発熱した原因が、赤リン系難燃剤の耐水性が不十分であったものか、プラグの変形によるものか不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/06/15)          |









| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名   | 事故通知内容                     | 事故原因  | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|----------------------------|---|---|--------------------------|
| A201600159<br><br>2016-0715<br><br>2016/06/24<br><br>(事故発生地)<br>千葉県 | エアコン（室外機）<br><br><br>(株) コロナ<br><br><br>COH-B224GA   | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、制御基板上の銅箔パターン間で短絡、トラッキング現象等が発生し、出火したものと考えられるが、制御基板の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/07/04)          |
| A201600160<br><br>2016-0721<br><br>2016/06/23<br><br>(事故発生地)<br>愛知県 | 温水式浴室換気乾燥暖房機<br><br><br>リンナイ(株)、(東邦ガス(株)ブランド)<br><br><br>RBH-C331K2SN<br>(A)、(東邦ガス(株)ブランド:型式HBD- | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 調査の結果、当該製品は、送風モーターの内部基板のピースコアはんだ付け部に異常があったため、はんだクラックによるスパーク、異常発熱が生じ、出火に至ったものと推定される。   | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/07/04)          |
| A201600161<br><br>2016-0716<br><br>2016/06/21<br><br>(事故発生地)<br>沖縄県 | パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)<br><br><br>三洋電機(株)<br><br><br>SSI-TL40A2                                  | 当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。     | 当該製品は、直流昇圧回路の出力側に装着された電解コンデンサの電圧制御用ICが故障したことで、電解コンデンサーに過電圧が加わり、電解コンデンサーが過熱し、内圧が上昇して安全弁が作動し、高温の電解液が外部に噴出したものと推定されるが、電圧制御用ICが故障した原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/07/04)          |







| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名  | 事故通知内容                         | 事故原因   | 再発防止措置   | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|--------------------------------|--|--|--------------------------|
| A201600203<br><br>2016-0817<br><br>2016/06/17<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | 扇風機<br><br><br>(株)千住<br><br>K1-W422           | 保育所で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品のモーター巻線が異常発熱したため、堆積したホコリ等に着火し、出火したものと推定されるが、モーター巻線が異常発熱した原因が不明であり、事故原因の特定には至らなかった。                       | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/07/19)          |
| A201600206<br><br>2016-0818<br><br>2016/05/22<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電気ケトル<br><br><br>オカノ(株)<br><br>RSK-1          | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、取っ手内部の電気部品から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。                                     | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/07/20)          |
| A201600217<br><br>2016-0859<br><br>2016/06/19<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | エアコン(室外機)<br><br><br>ダイキン工業(株)<br><br>RAZ225X | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。     | 当該製品のプリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差により、はんだ接続部に繰り返し応力が掛かり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至ったものと考えられる。 | 同社は、当該製品を含む対象製品について、事故の再発防止を図るため、2004年10月18日にウェブサイトにて情報を掲載し、翌10月19日に新聞社告を行うとともに、継続的に新聞折込チラシやダイレクトメールの送付を行い、無償点検・改修を実施している。 | (受付:2016/07/25)          |











| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名  | 事故通知内容                                    | 事故原因   | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---|--|---|--------------------------|
| A201600254<br><br>2016-0973<br><br>2016/02/28<br><br>(事故発生地)<br>千葉県 | 布団乾燥機<br><br><br>(株)ユニオン電器<br><br>MK-38                                 | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。                     | 当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。                                       | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/08/10)          |
| A201600258<br><br>2016-1007<br><br>2016/08/08<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | 太陽電池モジュール(太陽光発電システム用)<br><br><br>シャープ(株)<br><br>NE-36K4F                | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。                     | 当該製品の出力ケーブル接続部、又は、端子ボックス付近から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/08/15)          |
| A201600261<br><br>2016-1010<br><br>2016/08/05<br><br>(事故発生地)<br>北海道 | 電気冷蔵庫<br><br><br>LG電子ジャパン(株)(現LG Electronics Japan(株))<br><br>FR-F110GY | ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 | 当該製品は、長期使用(約19年)により、運転コンデンサーが絶縁劣化し、異常発熱して出火したものと推定される。   | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/08/16)          |



| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名   | 事故通知内容  | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|---|---|---|----------------------|
| A201600274<br><br>2016-1049<br><br>(事故発生地)<br>岡山県                   | 電気温水器<br><br>タカラスタンダード(株)<br><br>EM-202KG-R  | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。<br><br><br><br>(火災)             | 当該製品内部に設置された漏電遮断器の電線接続部において、接触不良による異常発熱が生じて周辺を焼損したものと推定されるが、接続端子部の焼損が著しいため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。                    | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2016/08/26)      |
| A201600277<br><br>2016-1051<br><br>2016/08/14<br><br>(事故発生地)<br>長崎県 | 扇風機<br><br>パナソニック エコシステムズ(株)<br><br>F-GA301  | 倉庫で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。<br><br><br><br>(火災) | 当該製品のモーター組み付け工程において、モーターリード線を首振り部に挟み込んだため、芯線の一部が断線し、使用時の首振り運転に伴い断線が進行して接触不良により異常発熱し、モーターリード線の異極間で短絡、スパークし、出火に至ったものと推定される。 | パナソニック(株)は、事故の再発防止を図るため、2017年(平成29年)1月24日にホームページに情報を掲載するとともに、同月25日に新聞社告を行い、当該製品を含む対象製品について、無償で製品交換・設置を実施している。 | (受付:2016/08/26)      |
| A201600278<br><br>2016-1052<br><br>2016/08/06<br><br>(事故発生地)<br>岐阜県 | 扇風機<br><br>三洋電機(株)<br><br>不明(EF-6EMの後継機種と推定) | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。<br><br><br><br>(火災)    | 当該製品は、長期使用(40年以上)により、運転用コンデンサーの絶縁性が劣化し、短絡・スパークが生じて出火に至ったものと推定される。   | 三洋電機(株)(現 パナソニック(株))は、平成19年8月25日以降、毎年、新聞広告を掲載し、また、平成19年9月からはテレビ広告を実施するなどして、使用の中止及び製品の廃棄を呼びかけている。              | (受付:2016/08/26)      |



| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容                            | 事故原因   | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|--|---|-----------------------------------|--|---|----------------------|
| A201600291<br><br>2016-1117<br><br>2016/08/05<br><br>(事故発生地)<br>鹿児島県 | エアコン（室外機）<br><br><br><br>(株)富士通ゼネラル<br><br><br>A O 2 5 H P B                      | 宿泊施設で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。   | 当該製品の制御基板の電源回路部から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。                          | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/09/01)      |
| A201600293<br><br>2016-1118<br><br>2016/08/20<br><br>(事故発生地)<br>福岡県  | エアコン（室外機）<br><br><br><br>三菱重工業（株）<br><br><br>S R C Z 2 8 E 5 J                    | 異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 | 当該製品は、絶縁不良等により基板上のコンネクター端子間でトラッキング現象が発生したと考えられるが、基板の焼損が著しいため、コンネクター端子間でトラッキング現象が発生した原因は特定できなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/09/01)      |
| A201600297<br><br>2016-1146<br><br>2016/08/27<br><br>(事故発生地)<br>大阪府  | ノートパソコン<br><br><br><br>富士通（株）（現 富士通クライアントコンピューティング（株））<br><br><br>F M V A 4 2 X W | 店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。          | 当該製品は、バッテリーパック内部のリチウムイオン電池セルに異物が混入したため、内部短絡を生じて異常発熱し、出火に至ったものと推定される。                             | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/09/05)      |







| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名  | 事故通知内容                                 | 事故原因  | 再発防止措置   | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|--|---|--|--------------------------|
| A201600329<br><br>2016-1201<br><br>2016/08/22<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ホームベーカリー<br><br><br>ツインバード工業(株)<br><br>PY-4435    | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。             | 当該製品は、電源基板のタブ端子のはんだ付け箇所付近から出火したものと推定されるが、基板の一部が焼失し確認できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。                                      | (受付:2016/09/16)          |
| A201600336<br><br>2016-1235<br><br>2016/09/13<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | ACアダプター(インターホン用)<br><br><br>アイホン(株)<br><br>PS-24N | 当該製品に接続されたモニターを焼損する火災が発生した。            | 調査の結果、長期使用(約28年)により、電圧制御用の電解コンデンサーが経年劣化し過電流が生じて発熱し、出火に至ったものと考えられる。              | アイホン(株)では、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成20年6月10日にホームページに情報を掲載し、無償で点検と交換を実施している。 | (受付:2016/09/23)          |
| A201600339<br><br>2016-1253<br><br>2016/08/19<br><br>(事故発生地)<br>富山県 | エアコン(室外機)<br><br><br>ダイキン工業(株)<br><br>AR2509DX    | 当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、基板の焼損が著しいことから、当該製品から出火したものと推定されるが、確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。       | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。                                      | (受付:2016/09/26)          |



| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                            | 品名  | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|--|---|---|--------------------------|
| A201600362<br><br>2016-1318<br><br>2016/07/21<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | リチウム電池内蔵充電器<br><br><br>(株)ノジマ<br><br>EFSMB22-B                        | 当該製品を鞆に入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。 | 調査の結果、当該製品のリチウムポリマー電池セルが内部短絡したため、異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しいことから、電池セルが内部短絡した原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/10/07)          |
| A201600363<br><br>2016-1319<br><br>2016/09/18<br><br>(事故発生地)<br>沖縄県 | 食器洗い乾燥機<br><br><br>日立ホーム&ライフソリューション(株)(現日立アプライアンス(株))<br><br>KF-S60EX | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。                     | 調査の結果、当該製品のヒーターリード線が固定部で断線し、異常発熱して出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しいため断線が生じた原因の特定には至らなかった。            | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/10/07)          |
| A201600370<br><br>2016-1371<br><br>2016/10/01<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | 電気冷蔵庫<br><br><br>東京芝浦電気(株)(現東芝ライフスタイル(株))<br><br>GR-2028T             | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。                          | 当該製品は、長期使用(38年以上)により、コンプレッサ一用始動リレーの樹脂製ケースが絶縁劣化したため、端子間でトラッキング現象が発生し、出火したものと推定される。         | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/10/12)          |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                                | 品名   | 事故通知内容                           | 事故原因   | 再発防止措置  | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|----------------------------------|--|---|----------------------|
| A201600371<br><br>2016-1372<br><br>2016/09/27<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | 扇風機<br><br><br>三洋電機(株)<br><br>EF-30DB                | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。            | 当該製品は、長期使用(47年)により、モーターの軸受が固着したため、モーター巻線が異常発熱し、出火したものと推定される。   | 三洋電機(株)(現 パナソニック(株))は、平成19年8月25日以降、毎年、新聞広告を掲載し、また、平成19年9月からはテレビ広告を実施するなどして、使用の中止及び製品の廃棄を呼びかけている。  | (受付:2016/10/12)      |
| A201600375<br><br>2016-1392<br><br>2016/10/02<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電気冷蔵庫<br><br><br>シャープ(株)<br><br>SJ-23B-H             | 異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 | 調査の結果、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー(起動用電気部品)内のPTC素子(電流を制御する部品)の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損したものと推定される。 | シャープ(株)は、事故の再発防止を図るため、平成24年4月17日にホームページに情報を掲載するとともに新聞掲載し、当該製品を含む対象製品について無償点検・部品交換を実施している。   | (受付:2016/10/13)      |
| A201600384<br><br>2016-1398<br><br>2016/08/21<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 扇風機<br><br><br>東京芝浦電気(株)(現<br>東芝ホームテクノ(株))<br><br>不明 | 建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。       | 当該製品は、長期使用(40年)により、モーター巻線又は運転用コンデンサーの絶縁性能が低下し、出火したものと推定される。  | 製造事業者である東芝ホームテクノ(株)や関係工業会では、再発防止策として、長期使用の扇風機について、電気部品の経年劣化によって発煙・出火し、火災に至るおそれがあることから、ホームページで扇風機の使用に当たっての注意事項を掲載し、異常に気づいたら直ちに使用を止め、販売店などに相談するよう呼び掛けている。 | (受付:2016/10/14)      |





| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容                                    | 事故原因  | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|--|---|---|---|--|----------------------|
| A201600415<br><br>2016-1474<br><br>2016/10/06<br><br>(事故発生地)<br>東京都  | 電気こんろ<br><br><br>三化工業(株)<br><br>SPH-131S                                    | 店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。                  | 当該製品のヒーター上部に置かれていた段ボール箱が荷崩れを起こした際、あるいは積み直した際にスイッチつまみが回転して、段ボール箱が焼損したものと推定されるが、スイッチつまみが操作パネル表面から凸状に出ている構造であったことも事故発生に影響したものと考えられる。なお、本体には「火災の恐れあり、ヒーターの上や周囲に可燃物を置かない。」旨、記載されている。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、三化工業(株)は平成20年6月製造分からスイッチつまみが操作パネルより出ない構造に改良している。また、ヒーター上部や周囲に可燃物を置かない等の注意喚起をホームページで実施している。     | (受付:2016/10/28)      |
| A201600422<br><br>2016-1497<br><br>2016/10/19<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 電気冷蔵庫<br><br><br>LG電子ジャパン(株)(<br>現 LG Electronics Japan(株))<br><br>LR-A17PS | 火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 | 事故原因は、コンデンサの製造不良により、コンデンサ内部の酸化が進行し、規定以上の電気抵抗が生じて発熱・出火に至ったものと考えられる。  | LG Electronics Japan(株)では、事故の再発防止を図るため、平成20年12月16日にプレスリリース及びホームページでの告知を行うとともに、17日に新聞社告を掲載した。その後もホームページや新聞社告等での再告知を行い、対象製品について無償の部品交換を実施している。 | (受付:2016/11/01)      |
| A201600424<br><br>2016-1517<br><br>2016/10/22<br><br>(事故発生地)<br>鹿児島県 | 除湿機<br><br><br>アイリスオーヤマ(株)<br><br>EJD-70N                                   | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。            | 当該製品は、転倒時オフスイッチに不具合があったため、接点部で接触不良が生じて異常発熱し、出火に至ったものと推定される。   | アイリスオーヤマ(株)は、再発防止策として、2016年8月24日より顧客情報がある消費者へのダイレクトメール送付及び電話連絡、ホームページ掲載、店頭告知を行い、対象製品について無償で点検・修理を行っている。                                      | (受付:2016/11/04)      |





| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品 名   | 事 故 通 知 内 容                | 事 故 原 因  | 再 発 防 止 措 置  | 経 済 産 業 省 又 は<br>消 費 者 庁<br>受 付 年 月 日 |
|---|---|----------------------------|--|--|---------------------------------------|
| A201600432<br><br>2016-1522<br><br>2016/10/15<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | リチウム電池内蔵充電器<br><br><br>(株) ハック<br><br>HAC1182 | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品のリチウムイオン電池セルの不具合により、異常発熱して出火したものと推定される。  | 輸入事業者である(株)ハックでは、当該製品を含む対象機種について、2016年(平成28年)11月18日にホームページに情報を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品回収および返金を実施している。また、当該製品と同時期に販売したリチウム電池内蔵充電器についても、発煙、発火に至るおそれがあるため、対象機種へ追加し、2017年(平成29年)2月27日にホームページの情報を更新するとともに、インターネット検索サイトのバナ一告知を実施している。 | (受付:2016/11/04)                       |
| A201600433<br><br>2016-1523<br><br>2016/10/20<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | リチウム電池内蔵充電器<br><br><br>(株) ハック<br><br>HAC1078 | 当該製品を焼損する火災が発生した。          | 当該製品のリチウムイオン電池セルの不具合により、異常発熱して出火したものと推定される。  | 輸入事業者である(株)ハックでは、当該製品を含む対象機種について、2016年(平成28年)11月18日にホームページに情報を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品回収および返金を実施している。また、当該製品と同時期に販売したリチウム電池内蔵充電器についても、発煙、発火に至るおそれがあるため、対象機種へ追加し、2017年(平成29年)2月27日にホームページの情報を更新するとともに、インターネット検索サイトのバナ一告知を実施している。 | (受付:2016/11/04)                       |
| A201600434<br><br>2016-1562<br><br>2016/10/28<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電子レンジ<br><br><br>船井電機(株)<br><br>MO 58-5A      | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品のドアスイッチのタブ端子とファストン端子の接続部に溶融が認められたことから、接続部が異常発熱し出火したものと考えられるが、接続部の焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/11/07)                       |



| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名  | 事故通知内容                         | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|--------------------------------|---|---|--------------------------|
| A201600454<br><br>2016-1649<br><br>2016/11/05<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 電気温風機（セラミックファンヒーター）<br><br>森田電工（株）（現（株）ユーイング）<br><br>MDS-1200CT | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。     | 事故原因は、当該製品のセラミックヒーターユニットの中央端子と電源配線のファストン（平型）端子部において、接続不良により接触抵抗による過熱が生じ、出火に至ったものと考えられる。                     | 森田電工（株）（現（株）ユーイング）では、対象機種（電気温風機（セラミックファンヒーター））について事故の再発防止を図るため、平成7年12月18日及び平成10年2月9日、無償点検・修理を実施する旨の告知を新聞社告に掲載し、また、平成10年9月17日からホームページにおいて注意喚起を呼び掛けている。 | (受付:2016/11/17)          |
| A201600455<br><br>2016-1650<br><br>2016/11/07<br><br>(事故発生地)<br>熊本県 | 電子レンジ<br><br>(株)千石(岩谷産業(株)ブランド)<br><br>IM-574(岩谷産業(株)ブランド)      | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、火災に至ったものと考えられる。   | 販売事業者である岩谷産業（株）は、当該製品を含む対象機種について、平成15年9月2日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビCM放送で注意喚起を行い、対象製品について、無償改修（スイッチ部の交換）を実施している。  | (受付:2016/11/17)          |
| A201600456<br><br>2016-1651<br><br>2016/11/07<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 電気冷蔵庫<br><br>シャープ（株）<br><br>SJ-E30B-C                           | 当該製品を焼損する火災が発生した。              | 事故原因は、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のPTC素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損したのと考えられる。 | シャープ（株）は、事故の再発防止を図るため、平成24年4月17日にホームページに情報を掲載するとともに新聞社告を行い、当該製品を含む対象製品について、無償点検・部品交換を実施している。  | (受付:2016/11/17)          |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名  | 事故通知内容  | 事故原因  | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---|---|--|----------------------|
| A201600459<br><br>2016-1652<br><br>2016/10/26<br><br>(事故発生地)<br>愛知県 | 照明器具<br><br><br>(株) オーム電機<br><br><br>OAL-27FAG    | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。       | 当該製品は、インバーター基板から出火に至ったものと考えられるが、焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/11/18)      |
| A201600466<br><br>2016-1676<br><br>2016/10/25<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | リチウム電池内蔵充電器<br><br><br>(株) ハック<br><br><br>HAC1078 | 当該製品で携帯電話機(スマートフォン)を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品のリチウムイオン電池セルの不具合により、異常発熱して出火したものと推定される。           | 輸入事業者である(株)ハックでは、当該製品を含む対象機種について、2016年(平成28年)11月18日にホームページに情報を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品回収および返金を実施している。また、当該製品と同時期に販売したリチウム電池内蔵充電器についても、発煙、発火に至るおそれがあるため、対象機種へ追加し、2017年(平成29年)2月27日にホームページの情報を更新するとともに、インターネット検索サイトのバナー告知を実施している。 | (受付:2016/11/22)      |
| A201600467<br><br>2016-1677<br><br>2016/11/15<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | リチウム電池内蔵充電器<br><br><br>(株) ハック<br><br><br>HAC1182 | 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。                | 当該製品のリチウムイオン電池セルの不具合により、異常発熱して出火したものと推定される。           | 輸入事業者である(株)ハックでは、当該製品を含む対象機種について、2016年(平成28年)11月18日にホームページに情報を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品回収および返金を実施している。また、当該製品と同時期に販売したリチウム電池内蔵充電器についても、発煙、発火に至るおそれがあるため、対象機種へ追加し、2017年(平成29年)2月27日にホームページの情報を更新するとともに、インターネット検索サイトのバナー告知を実施している。 | (受付:2016/11/22)      |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名   | 事故通知内容                         | 事故原因  | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|--------------------------------|---|--|----------------------|
| A201600468<br><br>2016-1678<br><br>2016/10/16<br><br>(事故発生地)<br>熊本県 | リチウム電池内蔵充電器<br><br><br>(株) ハック<br><br>HAC1078  | 当該製品に付属したUSBケーブルを焼損する火災が発生した。  | 当該製品に付属のUSBケーブルのコネクタ一部に内蔵された基板において、ケーブル接続部のはんだが溶融したため、基板のICチップ接続端子間で短絡し、コネクタが焼損したものと考えられるが、はんだが溶融した原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者である(株)ハックでは、当該製品を含む対象機種について、内蔵のリチウムイオン電池セルから出火する事象が発生したことから、2016年(平成28年)11月18日にホームページに情報を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品回収および返金を実施している。また、当該製品と同時期に販売したリチウム電池内蔵充電器についても、発煙、発火に至るおそれがあるため、対象機種へ追加し、2017年(平成29年)2月27日にホームページの情報を更新するとともに、インターネット検索サイトのバナー告知を実施している。 | (受付:2016/11/22)      |
| A201600472<br><br>2016-1697<br><br>2016/11/12<br><br>(事故発生地)<br>長野県 | ノートパソコン<br><br><br>日本ヒューレット・パッカ<br>ード(株)(現(株)日<br>本HP)<br><br>LK-382PA                         | 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品のAC電源コードコネクタに絶縁不良が生じて異常発熱したものか、内蔵リチウムイオンバッテリーパックが異常発熱したものか、焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。                        | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者である(株)日本HPでは、当該製品を含む対象製品の付属品として特定の期間に販売された電源コードセットについて、使用中に過熱、発火、火傷等に至るおそれがあるとして、2014年(平成26年)8月27日からホームページに情報を掲載し、対象の電源コードセットについて無償交換を実施している。   | (受付:2016/11/24)      |
| A201600475<br><br>2016-1698<br><br>2016/11/08<br><br>(事故発生地)<br>愛知県 | 照明器具<br><br><br>(株)ミツヨシ(現 青垣<br>コイズミ照明(株))、(小<br>泉産業(株)ブランド)<br><br>AHN436949(小泉<br>産業(株)ブランド) | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。     | 当該製品は、長期使用(15年)により、インバーター基板のフィルムコンデンサーが絶縁劣化し、内部短絡を起こして焼損に至ったものと推定される。   | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/11/24)      |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名   | 事故通知内容                            | 事故原因   | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|-----------------------------------|--|--|----------------------|
| A201600492<br><br>2016-1726<br><br>2016/11/20<br><br>(事故発生地)<br>熊本県 | 電気洗濯機<br><br><br>三洋電機(株)<br><br>SW-450H3   | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。             | 当該製品の洗濯槽モーター用運転コンデンサの不具合により、絶縁破壊して短絡が生じて、周辺の可燃物に着火し、延焼したものと推定される。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/11/30)      |
| A201600500<br><br>2016-1764<br><br>2016/11/21<br><br>(事故発生地)<br>愛知県 | ノートパソコン<br><br><br>パナソニック(株)<br><br>CF-S10CWHDS  | 大学で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を損傷する火災が発生した。 | 調査の結果、当該製品のバッテリーセルの封口部に製造上の不具合によって生じた導電性異物が付着し、充放電を繰り返すうちに封口部の絶縁部が劣化し、バッテリーセルが内部短絡を起こして過熱し、火災に至ったものと推定される。 | パナソニック(株)は、平成26年5月28日にホームページに情報を掲載するとともに、同月29日に新聞社告を行い、対象バッテリーパック(特定の期間に製造した電池セルを使用したもの)について無償で製品交換を実施している。また、当該リコールの対象外であったバッテリーパックにおいても発煙・発火に至るおそれがあるため、対象範囲を拡大することとし、平成26年11月13日にホームページに情報を掲載するとともに、同月14日及び平成27年2月23日に新聞社告を行っている。 | (受付:2016/12/05)      |
| A201600507<br><br>2016-1766<br><br>2016/11/29<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | 電子レンジ<br><br><br>日伸工業(株)(現(株)クリスタル電器が事業継承)(株)富士通ゼネラルブランド)<br><br>BE-50C6-H((株)富士通ゼネラルブランド) | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。        | 当該製品のドアスイッチの接点部で接触不良が生じ、異常発熱により出火に至ったものと推定されるが、異常発熱が生じた原因の特定には至らなかった。                                      | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/12/06)      |













| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                             | 品名   | 事故通知内容                         | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|--|--|--------------------------------|---|---|--------------------------|
| A201600615<br><br>2016-2031<br><br>2017/01/06<br><br>(事故発生地)<br>和歌山県 | 電気ストーブ（カーボンヒーター）<br><br>燦坤日本電器（株）<br><br>TSK-5328CT                        | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 事故原因は、当該製品の強弱切替スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。 | 燦坤日本電器（株）は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成19年8月7日、平成20年4月21日及び平成23年2月10日にウェブサイトへ情報掲載し、また、平成23年2月、平成24年2月及び平成25年3月に新聞社告を掲載し、平成26年1月にインターネット広告を行い、さらに、販売店においてポスター掲示、ダイレクトメールの送付により呼び掛けを行い、対象製品について製品回収・返金を実施している。 | (受付:2017/01/24)          |
| A201600618<br><br>2016-2033<br><br>2016/12/28<br><br>(事故発生地)<br>宮城県  | 電気ストーブ（カーボンヒーター）<br><br>ユアサプライムス（株）<br><br>YA-C945SR                       | 当該製品を焼損する火災が発生した。              | 事故の原因は、当該製品の強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられる。    | ユアサプライムス（株）では、再発防止として、2016年3月19日より情報を公開し、リコールを行っている。  | (受付:2017/01/25)          |
| A201600619<br><br>2016-2051<br><br>2017/01/13<br><br>(事故発生地)<br>大阪府  | 電気温風機（セラミックファンヒーター）<br><br>(株)千石（小泉成器（株）ブランド）<br><br>KCH-1233（小泉成器（株）ブランド） | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。     | 事故原因は、製造上の不具合により、ヒーター接続部が異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。                            | 販売事業者である小泉成器（株）は、当該製品を含む対象製品について、事故の再発防止を図るため、平成28年1月20日にウェブサイトへの情報掲載及び新聞社告を行うとともに、店頭告知を行い、対象製品について無償で製品交換を実施している。  | (受付:2017/01/26)          |

| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名  | 事故通知内容                          | 事故原因  | 再発防止措置   | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---------------------------------|---|--|--------------------------|
| A201600625<br><br>2016-2055<br><br>2017/01/18<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | ノートパソコン<br><br>NECパーソナルコンピューター(株)<br><br>PC-LL750LS6W | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。           | 当該製品は、バッテリーパック内部のリチウムイオン電池セルが内部短絡したため、異常発熱して出火したものと推定されるが、バッテリーパックの焼損が著しく、電池セルが内部短絡した原因の特定には至らなかった。             | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2017/01/27)          |
| A201600646<br><br>2016-2119<br><br>2016/12/31<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | 電気ストーブ(カーボンヒーター)<br><br>(株)山善<br><br>HCB-900          | 当該製品を使用中、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、電源スイッチの不具合により、接点部分で接触不良が生じて異常発熱し、焼損に至ったものと推定される。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2017/02/02)          |
| A201600651<br><br>2016-2123<br><br>2017/01/24<br><br>(事故発生地)<br>三重県 | 電子レンジ<br><br>小泉成器(株)<br><br>KRD-0106                  | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。      | 事故原因は、当該製品を使用する際に、扉を開閉し、電源の入切が繰り返されることで、ドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパークが発生し、トラッキング現象(絶縁破壊による短絡)が起こり、出火に至ったものと考えられる。 | 小泉成器(株)は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、平成19年9月12日に新聞社告を掲載し、使用の中止を呼び掛けるとともに、無償改修を実施している。また、同社では、平成20年3月以降複数回にわたり、テレビCM放送で注意喚起を行い、対象製品について無償改修を呼び掛けている。 | (受付:2017/02/03)          |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名  | 事故通知内容  | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---|---|---|----------------------|
| A201600653<br><br>2016-2125<br><br>2017/01/21<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | 温水洗浄便座<br><br>東陶機器(株)(現 T O T O (株))<br><br>T C F 9 6 5 | 当該製品を焼損する火災が発生した。<br><br><br><br>(火災)                 | 事故原因は、コントローラー基板の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。 | 東陶機器(株)(現 T O T O (株))は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌17日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。 | (受付:2017/02/03)      |
| A201600664<br><br>2016-2160<br><br>2017/01/06<br><br>(事故発生地)<br>群馬県 | 扇風機<br><br>パナソニック エコシステムズ(株)<br><br>F - G A 3 0 1       | 施設で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。<br><br><br><br>(火災) | 当該製品のモーター組み付け工程において、モーターリード線を首振り部の部品に挟み込んだため、芯線の一部が断線し、使用時の首振り運転に伴い断線が進行して接触不良により異常発熱し、モーターリード線の異極間で短絡、スパークし、出火に至ったものと推定される。                          | パナソニック(株)は、事故の再発防止を図るため、2017年(平成29年)1月24日にホームページに情報を掲載するとともに、同月25日に新聞社告を行い、当該製品を含む対象製品について、無償で製品交換・設置を実施している。   | (受付:2017/02/09)      |
| A201600680<br><br>2016-2220<br><br>2017/01/27<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | エアコン(室外機)<br><br>ダイキン工業(株)<br><br>R A 2 2 5 G X         | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。<br><br><br><br>(火災)        | 当該製品のプリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差により、はんだ接続部に繰り返し応力が掛かり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至ったものと考えられる。  | 同社は、当該製品を含む対象製品について、事故の再発防止を図るため、2004年10月18日にウェブサイトへ情報を掲載し、翌10月19日に新聞社告を行うとともに、継続的に新聞折込チラシやダイレクトメールの送付を行い、無償点検・改修を実施している。   | (受付:2017/02/16)      |

| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                            | 品名   | 事故通知内容                         | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|--------------------------------|---|---|--------------------------|
| A201600706<br><br>2016-2276<br><br>2017/01/10<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | デスクヒーター<br><br><br>クレオ工業(株)<br><br>NN8920                    | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品を机下部の側面に取り付けて使用中に、椅子の座面が本体表面生地と長時間接触して部分発熱し、温度コントロール用サーモスタットが作動せず、発火に至ったものと考えられる。 | クレオ工業(株)では、平成25年1月15日にホームページへ情報掲載し、販売先での店内告知、ダイレクトメールの送付により、注意喚起するとともに、対象製品について無償交換を実施している。   | (受付:2017/02/21)          |
| A201600707<br><br>2016-2277<br><br>2017/01/30<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | 電気ストーブ(カーボンヒーター)<br><br><br>ユアサプライムス(株)<br><br>YA-C945SR     | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。     | 当該製品の強弱切替用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられる。                        | ユアサプライムス(株)では、再発防止として、2016年3月19日より情報を公開し、リコールを行っている。  | (受付:2017/02/21)          |
| A201600752<br><br>2016-2404<br><br>2017/02/26<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | デスクヒーター<br><br><br>松下電器産業(株)(現<br>パナソニック(株))<br><br>DC-2456P | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 調査の結果、当該製品内のヒーター線が遊離したため、ヒーター線周辺が異常過熱するとともに、ヒーター線がねじれ等によって断線、スパークを生じ、出火に至ったものと推定される。  | 松下電器産業(株)(現パナソニック(株))は、2008年(平成20年)3月5日にプレスリリースを行うとともにホームページへの情報掲載、同月6日に新聞社告を実施し、当該製品を含む対象機種について、無償で製品交換を実施している。さらに複数回の新聞折り込みチラシの配布等を通じて注意喚起を行っている。 | (受付:2017/03/10)          |











| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                                | 品名  | 事故通知内容  | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---|---|---|----------------------|
| A201500530<br><br>2015-1908<br><br>2015/10/30<br><br>(事故発生地)<br>香川県 | ガスボンベ<br><br>日本瓦斯(株) (株) TTSブランド)<br><br>火子ちゃん(株) TTSブランド)              | 当該製品をカセットこんろに装着して点火したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、3名が軽傷を負った。<br><br>(火災) | 当該製品をカセットこんろに正常に装着しなかったため、当該製品とカセットこんろの接続部付近から漏れ出したガスが点火の際に引火したものと考えられるが、当該製品の気密性を確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2015/11/27)      |
| A201500598<br><br>2015-2147<br><br>2015/12/13<br><br>(事故発生地)<br>香川県 | 石油給湯機付ふろがま<br><br>タカラスタンダード(株)<br><br>FD-61N                            | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。<br><br>(火災)                              | 当該製品は、長期使用(約20年)により、送油管接続部、電磁ポンプ調整ねじ部のOリング、及び電磁ポンプ内部の弁体に硬化・収縮が認められ、機器内部に漏れた灯油が気化して異常燃焼し、炎が排気口から噴出したものと推定される。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2015/12/22)      |
| A201500604<br><br>2015-2169<br><br>2015/12/03<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | 石油ストーブ(開放式)<br><br>(株)千石(株)グリーンウッドブランド)<br><br>GKP-S241N(株)グリーンウッドブランド) | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。<br><br>(火災)                          | 当該製品はカートリッジタンクの口金キャップが閉まったと誤認しやすい構造であったため、使用者が給油後、カートリッジタンクの口金キャップが確実に閉まっていない状態で当該製品にカートリッジタンクを戻そうとした際に、口金キャップが外れて灯油がこぼれ、カートリッジタンク内の灯油が当該製品に掛かり、燃焼部の火がこぼれた灯油に着火したものと推定される。なお、当該製品の芯にタールが固着しており、消火位置まで芯が下がらなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。 | (株)千石は、当該製品を含む対象機種について、平成22年9月1日に新聞社告を掲載し、また、ホームページへの情報掲載により、注意喚起を行うとともに、蓋の部品を変更したカートリッジタンクとの無償交換を実施している。 | (受付:2015/12/25)      |





| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品名   | 事故通知内容                         | 事故原因  | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|--------------------------------|---|---|--------------------------|
| A201500732<br><br>2015-2463<br><br>2015/11/17<br><br>(事故発生地)<br>山口県 | 石油ストーブ（開放式）<br><br><br>(株) コロナ<br><br>RX-2212Y | 当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。       | 当該製品の焼損は著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。   | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/02/04)          |
| A201500739<br><br>2015-2479<br><br>2016/01/27<br><br>(事故発生地)<br>長崎県 | 石油給湯機<br><br><br>タカラスタンダード(株)<br><br>FDS-470S  | 当該製品を焼損する火災が発生した。              | 当該製品が、出湯停止後にバーナーの燃焼が継続し、熱交換器が空だき状態になって過熱して出火したものと推定されるが、熱交換器が空だき状態になった経緯は不明であり、原因の特定には至らなかった。   | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/02/08)          |
| A201500740<br><br>2015-2480<br><br>2016/01/20<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | 石油ストーブ（開放式）<br><br><br>(株) コロナ<br><br>SX-B26Y  | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、長期使用（15年以上）によりカートリッジタンク口金の弁ゴムが劣化し、気密性が損なわれたため、給油後のカートリッジタンクを本体にセットする際に口金から灯油が漏れ、漏れた灯油が燃焼を続けていた当該製品に掛かり、出火に至ったものと推定されるが、使用者が当該製品を消火せずに給油したことや、カートリッジタンクの口金部分から灯油漏れがあることを知りながら、継続使用したことも事故発生に影響したと考えられる。なお、取扱説明書には「給油は、必ず消火してから行う。火災の原因になる。」、「灯油漏れがある場合は、修理を依頼する」旨、記載されている。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/02/08)          |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名   | 事故通知内容                                      | 事故原因  | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|---|---|---|----------------------|
| A201500753<br><br>2015-2509<br><br>2016/01/23<br><br>(事故発生地)<br>奈良県 | 石油ストーブ（開放式）<br><br><br>(株) コロナ<br><br><br>SX-E2911WY | 当該製品に給油後、建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。             | 当該製品に異常燃焼の痕跡は認められず、カートリッジタンクからの油漏れも認められなかったが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/02/12)      |
| A201500755<br><br>2015-2511<br><br>2016/01/31<br><br>(事故発生地)<br>岡山県 | 石油バーナー<br><br><br>(株) 長府製作所<br><br><br>SB-9          | 当該製品のタイマーをセットして風呂を沸かしたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品の電気部品からの出火の痕跡及び灯油漏れの痕跡は認められなかったが、焼損が著しいため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。   | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/02/12)      |
| A201500767<br><br>2015-2543<br><br>2016/02/04<br><br>(事故発生地)<br>徳島県 | 石油給湯機<br><br><br>(株) 長府製作所<br><br><br>IBF-422DS      | 当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。                    | 当該製品の消音室にたまっていた灯油に引火し、熱交換器が過熱して内圧が上昇するとともに、樹脂製の出湯配管の過熱により配管接続部から漏水したため、水流スイッチが作動してバーナーが着火し、燃焼量が過剰となって排気口から炎が噴出したものと推定されるが、消音室に灯油がたまった原因が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/02/16)      |



| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品 名  | 事 故 通 知 内 容                            | 事 故 原 因   | 再 発 防 止 措 置   | 経 済 産 業 省 又 は<br>消 費 者 庁<br>受 付 年 月 日 |
|---|--|--|---|---|---------------------------------------|
| A201500772<br><br>2015-2545<br><br>2016/02/12<br><br>(事故発生地)<br>群馬県 | 石油給湯機付ふろがま<br><br><br>(株)ノーリツ<br><br>OTQ-302Y    | 当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。               | 当該製品の電磁弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと推定される。                | 製造事業者である（株）ノーリツでは、再発防止策として、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | (受付:2016/02/17)                       |
| A201500777<br><br>2015-2565<br><br>2016/02/07<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | 石油温風暖房機（開放式）<br><br><br>ダイニチ工業（株）<br><br>FW-324S | 当該製品を焼損する火災が発生した。                      | 当該製品に異常が認められないことから、使用者が当該製品を落下させた際に、内部から出火したものと考えられるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2016/02/18)                       |
| A201500791<br><br>2015-2638<br><br>2016/01/13<br><br>(事故発生地)<br>山口県 | 石油温風暖房機（開放式）<br><br><br>(株)トヨトミ<br><br>NLC-32E4  | 当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。                      | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2016/02/23)                       |







| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名  | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置                                      | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|--|--|---|----------------------|
| A201600105<br><br>2016-0391<br><br>2016/05/23<br><br>(事故発生地)<br>愛知県 | 石油給湯機<br><br>(株)長府製作所<br><br>IB-4510SG      | 当該製品のリモコンを操作したところ、当該製品を焼損する火災が発生した。                  | 当該製品は、燃焼室底板の溶接工程に不具合があり、燃焼室底板に亀裂が生じていたため、異常燃焼が生じた際に亀裂の隙間から炎があふれ、出火に至ったものと推定されるが、以前からエラー表示が出ていたにも関わらず、リセット操作を行って継続使用していたことも、事故発生に影響したものと考えられる。なお、取扱説明書には「エラー表示が出て、リセットしても直らない場合は、販売店に連絡する。」「処置をしないで何度もリセットを繰り返さない。火災・事故の原因になる。」旨、記載されている。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/06/02)      |
| A201600119<br><br>2016-0466<br><br>2016/05/31<br><br>(事故発生地)<br>北海道 | 石油給湯機<br><br>(株)コロナ<br><br>UIB-3300TXA (FF) | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。                           | 当該製品は、長期使用(約2年)により、機器の燃焼バランスが崩れて熱交換器にススが堆積し、機器内部の温度が上昇するとともに電磁ポンプのリングの劣化が促進したため、灯油漏れを生じて機器内部にたまり、気化した灯油が引火し、出火に至ったものと推定される。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/06/13)      |
| A201600126<br><br>2016-0467<br><br>2016/05/23<br><br>(事故発生地)<br>三重県 | カセットこんろ<br><br>(株)ニチネン<br><br>KC-330        | 店舗で当該製品にカセットボンベを装着して点火したところ、建物を全焼する火災が発生し、2名が火傷を負った。 | 当該製品は、容器セット金具をセット位置にした状態で、カセットボンベを無理に押し込むと、器具栓との結合が不完全な状態で保持されることもあり、カセットボンベの誤装着によりガス漏れが生じた可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明であり、火災熱の影響で器具栓の気密性も確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。 | (受付:2016/06/15)      |





| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名   | 事故通知内容                     | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|----------------------------|---|---|----------------------|
| A201600360<br><br>2016-1315<br><br>2016/09/23<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | 石油ふろがま<br><br>(株)長府製作所<br><br>CK-11  | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽排水栓の閉め方が不十分で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | (株)長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、修理・点検時の点検用コネクタの戻し忘れによる空焚き事故が発生したことから、事故再発防止のため、平成19年7月27日にプレスリリース及びHPに情報掲載し、点検用コネクタが付属する全ての機種について、無償点検により点検用コネクタの回収を実施。他の対象機種と一部構造等が異なる2機種（CK-11及びCK-11S）は、空焚き防止回路が不安定な際、空焚き防止装置の作動頻度が多くなり修理等の依頼が増え、点検用コネクタの戻し忘れの可能性が高くなるため、安定的な作動確保のため基板交換も実施。周知のため平成19年7月28日に新聞社告、平成21年10月～平成22年3月までTVCM放映、継続的に販売・サービス店による修理・点検時に対象機種がある場合、確認と回収等の徹底、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による呼び掛けを行っている。 | (受付:2016/10/06)      |
| A201600396<br><br>2016-1432<br><br>2016/10/12<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | 屋外式（RF式）ガス給湯付ふろがま（LPガス用）<br><br>(株)ノーリツ（大阪ガス）<br>(株)ブランド<br><br>GRQ-241A（大阪ガス）<br>(株)ブランド：型式31-097 | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は長期使用（27年）により、ふる側ダイヤフラムが劣化したことで使用中の繰り返し応力により亀裂が発生し、漏れたガスにふるバーナーの燃焼炎が点火時のスパークから引火し、機体内部を焼損したものと推定される。                                    | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2016/10/20)      |



| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                           | 品名   | 事故通知内容                            | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は<br>消費者庁<br>受付年月日 |
|--|--|-----------------------------------|---|---|--------------------------|
| A201600404<br><br>2016-1456<br><br>2016/10/16<br><br>(事故発生地)<br>長崎県  | 屋外式（RF式）ガスふろがま（LPガス用）<br><br><br>(株)長府製作所<br><br>GF-200D | 当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。          | 当該製品の空だき防止装置は外れかけており、空だき防止装置の取付けが不十分であったため事故に至った可能性があるが、配線が手より接続されていたなど、詳細な使用状況が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2016/10/24)          |
| A201600423<br><br>2016-1516<br><br>2016/10/26<br><br>(事故発生地)<br>北海道  | 石油給湯機<br><br><br>(株)ノーリツ<br><br>OQB-305F                 | 当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 | 当該製品の電磁弁に使用されているリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと推定される。                                   | 製造事業者である(株)ノーリツでは、再発防止策として、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。 | (受付:2016/11/02)          |
| A201600444<br><br>2016-1603<br><br>2016/11/04<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 石油ふろがま<br><br><br>(株)長府製作所<br><br>CK-5                   | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。    | 当該製品は、長期使用（37年）により炉底材金属枠が腐食、破損して生じた隙間から高温の燃焼ガスあるいは炎が漏れ、送油ゴムホースや電磁ポンプが損傷したために灯油が漏れ、漏れた灯油に燃焼ガス等が引火し、火災に至ったものと推定される。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2016/11/14)          |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名  | 事故通知内容                     | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|----------------------------|---|---|----------------------|
| A201600473<br><br>2016-1694<br><br>2016/11/10<br><br>(事故発生地)<br>岐阜県 | ガスこんろ（都市ガス用）<br><br><br>リンナイ（株）<br><br>RTS-4100GC-R | 当該製品を使用後、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品の左こんろ側の器具栓からガスが漏れ、こんろの火が引火し、器具栓の樹脂部や周辺の可燃物が燃えたものと考えられるが、器具栓の焼損が著しく、経年劣化によるOリングの摩耗によりガスが漏れたものか、不着火動作を繰り返したためガスが器具栓付近に滞留して器具栓パナ側のコルク材に熱影響を与えてガスが漏れたものか不明であり、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。   | (受付:2016/11/24)      |
| A201600495<br><br>2016-1739<br><br>2016/11/21<br><br>(事故発生地)<br>茨城県 | 石油ふろがま<br><br><br>(株)長府製作所<br><br>CK-11             | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽排水栓の閉め方が不十分で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。  | (株)長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、修理・点検時の点検用コネクターの戻し忘れによる空焚き事故が発生したことから、事故再発防止のため、平成19年7月27日にプレスリリース及びHPに情報掲載し、点検用コネクターが付属する全ての機種について、無償点検により点検用コネクターの回収を実施。他の対象機種と一部構造等が異なる2機種（CK-11及びCK-11S）は、空焚き防止回路が不安定な際、空焚き防止装置の作動頻度が多くなり修理等の依頼が増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなるため、安定的な作動確保のため基板交換も実施。周知のため平成19年7月28日に新聞社告、平成21年10月～平成22年3月までTVCM放映、継続的に販売・サービス店による修理・点検時に対象機種がある場合、確認と回収等の徹底、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による呼び掛けを行っている。 | (受付:2016/12/01)      |





| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名  | 事故通知内容                                    | 事故原因  | 再発防止措置  | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---|---|---|----------------------|
| A201600566<br><br>2016-1898<br><br>2016/12/21<br><br>(事故発生地)<br>山口県 | 石油ふろがま<br><br>(株)長府製作所<br><br>CK-11S                                  | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。                | 当該製品は機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽排水栓の閉め方が不十分で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。 | (株)長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、修理・点検時の点検用コネクタの戻し忘れによる空焚き事故が発生したことから、事故再発防止のため、平成19年7月27日にプレスリリース及びHPに情報掲載し、点検用コネクタが付属する全ての機種について、無償点検により点検用コネクタの回収を実施。他の対象機種と一部構造等が異なる2機種（CK-11及びCK-11S）は、空焚き防止回路が不安定な際、空焚き防止装置の作動頻度が多くなり修理等の依頼が増え、点検用コネクタの戻し忘れの可能性が高くなるため、安定的な作動確保のため基板交換も実施。周知のため平成19年7月28日に新聞社告、平成21年10月～平成22年3月までTVCM放映、継続的に販売・サービス店による修理・点検時に対象機種がある場合、確認と回収等の徹底、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による呼び掛けを行っている。 | (受付:2017/01/05)      |
| A201600650<br><br>2016-2118<br><br>2017/01/25<br><br>(事故発生地)<br>秋田県 | 石油ストーブ（開放式）<br><br>(株)千石（株）グリーンウッドブランド<br><br>GKP-S241N（株）グリーンウッドブランド | 当該製品の給油タンクを引き抜いたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 事故原因は、当該製品のカートリッジタンクの蓋（口金キャップ）が閉まったと誤認し、カートリッジタンクを出し入れする際に蓋が外れ、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。  | (株)千石は、当該製品を含む対象機種について、平成22年9月1日に新聞社告を掲載し、また、ホームページへの情報掲載により、注意喚起を行うとともに、蓋の部品を変更したカートリッジタンクとの無償交換を実施している。   | (受付:2017/02/03)      |



| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                                | 品名  | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|--|---|--|----------------------|
| A201500842<br><br>2015-2755<br><br>2016/01/23<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | 棚（洗面化粧台用）<br><br><br><br>タカラスタンダード（株）<br><br><br>SCU-75M3PK | 当該製品が壁から外れ、使用者の頭部に当たり、負傷した。                    | 当該製品は、素材（ポリスチレン）の耐薬品性が低く、壁に直接固定する構造であったために、壁紙に含まれていた可塑剤（フタル酸エステル）が当該製品のボス部に移行して強度低下を引き起こした結果、徐々にボス部が破損して最終的に製品が脱落し、事故に至ったものと推定される。                                    | 製造事業者であるタカラスタンダード（株）では、再発防止策として、平成28年2月9日から無償修理のリコールを行い、壁との固定部分の改修を進めている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン（PP）にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。 | (受付:2016/03/11)      |
| A201600306<br><br>2016-1164<br><br>2016/08/15<br><br>(事故発生地)<br>岐阜県 | 椅子<br><br><br><br>(株) コメリ<br><br><br>MGC-8009N              | 病院で当該製品に座ろうとしたところ、座面が外れ、転倒し、臀部を負傷した。           | 当該製品のパイプ脚同士の接合部において亀裂が発生し、その後の使用により、亀裂が伸展して破断に至り、座ろうとした際の衝撃で座面が脚から外れたものと推定されるが、製品の強度が確認できず、詳細な使用状況も不明であるため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。                                | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/09/09)      |
| A201600319<br><br>2016-1204<br><br>2016/07/18<br><br>(事故発生地)<br>新潟県 | 折りたたみベッド<br><br><br><br>(株) コメリ<br><br><br>S65002           | 店舗に用意された当該製品を使用中、当該製品の脚部が内側に折り畳まれて転倒し、臀部を負傷した。 | 調査の結果、当該製品は、脚部がロックされるまで開いていることを確認してから使用する旨の記載が本体表示や取扱説明書になく、売場にもその旨の注意喚起の表示がなかったため、店員が用意した脚部がロックするまで開ききっていない当該製品に使用者が横たわった際に、当該製品の脚部が内側に折り畳まれ、座面が床に落下し、事故に至ったものと推定する。 | 再発防止策として、(株) コメリは安全面の観点から取扱説明書の記載内容を見直し、脚部の取扱い方法や注意・警告表示を追加するとともに、脚部使用上の注意を売場に表示し注意喚起を図り、また、従業員へ顧客の安全を考えた接客教育を実施した。                      | (受付:2016/09/15)      |

| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品 名  | 事 故 通 知 内 容                                       | 事 故 原 因   | 再 発 防 止 措 置   | 経 済 産 業 省 又 は<br>消 費 者 庁<br>受 付 年 月 日 |
|---|--|---|---|---|---------------------------------------|
| A201600523<br><br>2016-1815<br><br>2016/06/11<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | トイレットペーパーホル<br>ダー (ステンレス製)<br><br>(株) ハンズマン<br><br>7 6 5 1 B | トイレに設置された当該製品に指が当<br>たり、左手指を負傷した。<br><br><br>(重傷) | 当該製品の紙切り板 (ステンレス製) 端部に<br>研磨不足があったため、使用者の手が端部に接<br>触した際に事故に至ったものと推定される。 | 再発防止として、(株) ハンズマンは、<br>2016年6月から在庫品の研磨を追加で<br>行っている。また、2016年6月以前に<br>購入した消費者の方へは、事業者ホーム<br>ページ上で、研磨不足の商品が混在している<br>可能性があり、怪我をされる可能性がある<br>旨の注意喚起を行う予定である。 | (受付:2016/12/15)                       |



| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生日                                | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|--|--|--|--|----------------------|
| A201500629<br><br>2015-2224<br><br>2015/12/02<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 折りたたみ自転車<br><br>(株) アキボウ<br><br>Boardwalk D7   | 当該製品で走行中、当該製品の折り畳み部が破損し、転倒、腕を負傷した。<br><br><br>(重傷)           | 当該製品は、取扱説明書にある点検項目に「フレーム折りたたみ機構ヒンジ部へグリスを注入する」旨の記載がなかったこと、また販売店での定期点検時にフレーム折りたたみ機構の異常の有無の確認及びヒンジ部へのグリスの注入がされていないため、ヒンジ部が摩耗及び腐食が発生しやすい状態となり、走行時の振動等が繰り返し作用したことにより生じた亀裂が徐々に進展し、破断して事故に至ったものと推定される。  | 輸入事業者である(株)アキボウでは、再発防止措置として、平成29年8月から「フレーム折りたたみ機構ヒンジ部へ定期的に注油する」旨を取扱説明書の点検項目に追加するとともに、販売店及び購入者へ配布並びにHPへ掲載することで注意喚起を行う予定である。                 | (受付:2016/01/04)      |
| A201500837<br><br>2015-2758<br><br>2016/02/28<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 車いす<br><br>(株) 松永製作所<br><br>AR-911S            | 病院で使用者(90歳代)が当該製品に乗車中、落下物を拾おうとして、転倒し、負傷した。<br><br><br>(重傷)   | 調査の結果、当該製品に乗った使用者が落下物を拾おうとした際、バランスを崩して転倒したものと推定される。また、経緯は不明であるが誤った位置に車軸が取り付けられ、座面位置が変更されていたところ、取扱説明書や本体の注意表示に「座面高さ変更のために車軸位置を変える際は専門の販売店に相談する」旨が記載されておらず、販売店への周知が徹底されていなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。 | 製造事業者である(株)松永製作所では、再発防止措置として、2016年9月から同社ウェブページで「各種寸法を変更する場合は、お買上げの販売店または、弊社までご連絡ください。」との取扱説明書を掲載している。また、2017年1月から当該製品の取扱説明書を同仕様に変更する予定である。 | (受付:2016/03/10)      |
| A201600053<br><br>2016-0211<br><br>2016/03/22<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電動アシスト自転車<br><br>(株) カイホウジャパン<br><br>KH-DCY310 | 当該製品からバッテリーを取り外して充電中、当該製品のバッテリーを焼損する火災が発生した。<br><br><br>(火災) | 当該製品は、リチウムイオン電池セルが内部短絡したため、異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しいことから、電池セルが内部短絡した原因の特定には至らなかった。  | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/05/06)      |

| 経済産業省及び消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                              | 品名  | 事故通知内容  | 事故原因   | 再発防止措置   | 経済産業省又は消費者庁<br>受付年月日 |
|---|---|---|--|--|----------------------|
| A201600157<br><br>2016-0680<br><br>2016/06/19<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電動アシスト自転車<br><br><br>パナソニック サイクルテック(株)<br><br>BE-ENDT755B | 当該製品のバッテリーパックを充電器に載せていたところ、当該製品のバッテリーパック及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、バッテリーパックのパック製造工程で金属製異物が混入したため、バッテリーパック内部でリチウムイオン電池セルが外部短絡を起こして発熱・発火し、出火に至ったものと推定される。 | 製造事業者であるパナソニック サイクルテック(株)では、再発防止措置として、平成27年7月27日にホームページに情報を掲載するとともに、同月28日に新聞社告を行い、対象バッテリーパック(特定の期間に製造した電池セルを使用したもの)について無償で製品交換を実施している。 | (受付:2016/06/30)      |
| A201600377<br><br>2016-1393<br><br>2016/10/02<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 電動アシスト自転車<br><br><br>パナソニック サイクルテック(株)<br><br>BE-ENL73S   | 当該製品のバッテリーパックを充電器に載せていたところ、当該製品のバッテリーパック及び周辺を焼損する火災が発生した。 | 当該製品は、バッテリーパックのパック製造工程で金属製異物が混入したため、バッテリーパック内部でリチウムイオン電池セルが外部短絡を起こして発熱・発火し、出火に至ったものと推定される。 | 製造事業者であるパナソニック サイクルテック(株)では、再発防止措置として、平成27年7月27日にホームページに情報を掲載するとともに、同月28日に新聞社告を行い、対象バッテリーパック(特定の期間に製造した電池セルを使用したもの)について無償で製品交換を実施している。 | (受付:2016/10/13)      |
| A201600387<br><br>2016-1421<br><br>2016/03/15<br><br>(事故発生地)<br>熊本県 | 自転車<br><br><br>(株) マルイ<br><br>クロスライン30R                   | 当該製品で走行中、当該製品の前ホークが破断し、転倒、左ひざを負傷した。                       | 当該製品が確認できず、詳細な使用状況も不明であるため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。                                     | 引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。  | (受付:2016/10/17)      |









| 経済産業省及び<br>消費者庁管理番号<br>NITE管理番号<br>事故発生年月日                          | 品 名  | 事 故 通 知 内 容   | 事 故 原 因  | 再 発 防 止 措 置  | 経 済 産 業 省 又 は<br>消 費 者 庁<br>受 付 年 月 日 |
|---|--|---|--|--|---------------------------------------|
| A201600090<br><br>2016-0335<br><br>2016/04/30<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 乳幼児用椅子（ゆりかご<br>兼用）<br><br>アプリカ・チルドレンズ<br>プロダクツ（同）<br><br>9 1 1 2 2 | 当該製品を開梱中、乳児が当該製品で<br>左手指を挟み、負傷した。<br><br><br><br>(重傷) | 調査の結果、当該製品は出荷時からスイング<br>のロックが掛かっていなかったため、両親が目<br>を離れた際に被害者が当該製品の後部につかま<br>ったことで座面が前方にスイングし、座面の後<br>部と脚部台座との間にある隙間に左手の親指が<br>挟まれて、骨折に至ったものと推定される。 | アプリカ・チルドレンズプロダクツ（<br>同）は、同様の事故を起こさないため、工<br>場出荷時の検査体制を強化し、現在はスイ<br>ングのロックがかかっていることを確認し<br>ていることに加え、輸送中または開梱時に<br>ロックが動かないように粘着テープで固定<br>し出荷している。 | (受付:2016/05/25)                       |

